

〔小学校4～6年で使える指導資料①〕

題材名 「写真に落書きやいたずらをする…」

指導のポイント

教科書や掲示物の写真、友達の持ち物にふざけて落書きをしてしまったり、いたずらをしてしまったりする児童がどの学校にもいる。最近では、SNS上で写真に関わるトラブルが多く見られる。そこで、落書きやいたずらをした写真をSNS上に載せる危険性や、写真に落書きやいたずらをするとはいけないことを理解させたい。

指導例

〈ねらい〉

- ・落書きやいたずらをした写真をSNSに載せると、どのような危険性があるのかを理解する。
- ・写真を使ったいたずらをしてはいけないことを理解する。

	学習活動	予想される児童の反応	留意点
導入	1 写真に落書きをするなどといった加工した経験を発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の写真にひげをかいた。 ・プリクラを撮ったとき、落書きをした。 ・ゲーム機やスマートフォン等で撮った写真を変形させた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の加工については、全てが悪いことではないことをおさえる。
展開	2 ワークシート1の場面絵を読んでアサミの気持ちを考え、吹き出しに書き込む。	<ul style="list-style-type: none"> ・顔にいたずらされていていやだな。 ・これを他の人に見られたら恥ずかしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真に落書きやいたずらをする、された側は嫌な思いをすることに気付かせる。
	3 写真をSNSに載せると誰が見るのか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・アサミさんの兄弟や友達など、アサミさんのことをよく知っている人。 ・アサミさんのことを、全然知らない人。 ・世界中の人。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSは世界中の人が見ていることに気付かせる。
	4 もし、SNSに載せたら、どんなことになるか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人が見てアサミさんをばかにする。 ・アサミさんを知っている人が怒る。 ・アサミさんが知れば、アサミさんが悲しい気持ちになる。 ・載せた人が訴えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見た人が、いろいろな思いをすることに気付かせる。
まとめ	5 なぜ、写真に落書きをしたり、いたずらしたりしてはいけないのか話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・人を悲しませる。 ・相手を傷つけることになる。 ・いじめの原因になる。 ・犯罪になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の加工は、その写真に写っている人を傷付けてしまうことがあることにも気付かせる。
	6 学習活動を振り返り、学んだことやこれから気を付けたいことを考え、発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・勝手に友達の物に落書きをしたり、いたずらしたりしない。 ・写真を加工するときは、写っている人が嫌な気持ちにならないよう気を付ける。 ・加工した写真を、軽い気持ちでSNSに投稿しないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活に目を向けて、ネットトラブルにもつながることを意識させる。

【ワークシート】

1 アサミさんの家でゲームをして遊んでいたときに、タブレットにあるアサミさんの写真を見ていました。



2 アサミさんはわらっているけど、本当の気持ちは？

3 もしこの写真をインターネットやSNSにのせたら、だれが見るのだろう？

4 SNSに写真をのせると、どんなことになってしまうかな？



5 なぜ、写真に落書きやいたずらをしては、いけないのか考えてみましょう。

<ふり返し>

学んだことはどんなことですか。

これから気を付けていきたいことはどんなことですか。